

ヘッジ・ファンドは、日本国債の空売り、先物売り、売りオプション、CDS で巨大利益の機会を待っている。2012 年 8 月頃が、危険だと感じています。

～～～4/10 付株式日記のコメントより～～～

<http://www5.plala.or.jp/kabusiki/kabu261.html>

ゴールドマンサックスがどのようにしてギリシャ国債をおもちゃにして儲けて来たか、吉田繁治氏のマグマグに書かれています。この手口は 90 年代の日本株の売り崩しにも使われた手法だろう。最初にギリシャ国債を保険をかけて買い上げて優良国債に見せかける。ユーロ建てだし為替リスクが無いからフランスやドイツの銀行が大量に買った。金利が高くユーロ建てだからつい手が出る。

しかしゴールドマンサックスは子会社を通じて空売りさせて先物も売らせる。時機を見てゴールドマンサックスは売り材料を出してきて現物を売り浴びせて、ギリシャ国債は暴落して金利は急騰して 10% にもなった。空売りや売っておいた先物や CDS でぼろ儲けする。まさに 90 年代日本株を売り崩した手口と同じだ。

ゴールドマンサックスはアメリカ財務省とは一身同体だから、ゴールドマンサックスのやっていることはアメリカ政府の意思でもある。同じような事はイタリア国債やスペイン国債にも仕掛けて儲けている事でしょう。アメリカ政府の別組織でもある IMF は、ヨーロッパの金融危機には極めて冷淡に対応している。アメリカ政府はゴールドマンサックスを使ってユーロを解体させるのが目的だ。

90 年代のバブル崩壊も日本株を買い上げておいて、子会社を使って空売りや先物売りをして、悪材料を出して現物を売り浴びせる。情報はアメリカの財務省から入ってきますが、日本の株式市場の状況は大蔵省から筒抜けで入ってくるから情報操作はやりたい放題だ。ゴールドマンサックスが今度仕掛けてくるのは日本国債らしい。だからヘッジファンドは日本国債を買い捲っている。

おそらく子会社を通じて空売りや先物売りや安い CDS を買い捲っていることだろう。日本の財務省の官僚たちや日銀の官僚たちはアメリカの手先みたいなものだから、情報はアメリカの財務省に筒抜けだろう。ということはゴールドマンサックスにも筒抜けになっている。問題はいつどのように日本国債の悪材料をばらして来るかですが、吉田氏は今年の 8 月ごろと予想している。

しかしギリシャ国債とは違って日本国債は自国通貨建てだから、外資が国債を売り浴びせてきたら日銀が全部買ってしまえばいい。どうせ 3 ヶ月ものの短期国債だから直ぐに償還されて金利の上昇やインフレは小規模に収まるのではないだろうか。仕返しにアメリカ国債を売り飛ばして買い支えればアメリカ政府にとっては自業自得になる。しかし日本政府当局は米国債を売り飛ばすことをした事がない。アメリカの手先だからだ。

ゴールドマンサックスもいつも成功しているわけではなく、米国債売りには失敗している事が記事にも書かれています。ゴールドマンサックスの意向と財務省や FRB との意向が正面衝突したからだろう。日本や中国は米国債を売らずにかえって買ってきましたが、その為に金利が低下して米国債は上昇した。FRB が 60 兆円もの米国債を買い、その米国債を日本や中国が引き取ればアメリカ政府の財政が助かった。

アメリカのヘッジファンドは、ロボットトレーディングで1秒間に数千回もの売買を繰り返して相場を思いのままに動かしている。だから外資系証券の株式市場の売買シェアが6割だと言ってもロボットトレーディングによる1秒間に数千回もの往復売買がカウントされているからだ。まさに機関銃と単発銃の違いであり個人投資家とは勝負にならない。このように情報を操作してロボットトレーディングで株価操作されたのでは個人は手も足も出せない。

情報操作の手口も吉田氏の記事にもあるように、「米国では、先月、消費が好調と言われたかと思えば、その一週間後には、まだ住宅価格が下がっていて、世帯負債が年収の130%なので、消費は弱いという記事が出る始末（ウォールストリート・ジャーナルなど）」と言った具合であり、ヘッジファンドはやりたい放題だ。

果たしてゴールドマンサックスによる日本国債の売り崩しは成功するだろうか？ その為に外資は日本国債を買いあさっているのだろうか？ むしろユーロ債もダメ、米国債もダメだから日本国債を買ったのではないだろうか？ ユーロが落ちついて米国債に金利の上昇で日本国債が売られて円も安くなった。日本国債が暴落すると言うことは円も暴落することであり、円が安くなれば世界中が日本製品で溢れることになりませんが、韓国や中国が危なくなる。

私が吉田氏と根本的に意見が異なるのは、ギリシャ国債は自国通貨建てではなく、日本国債が自国通貨建てであり外資が売り崩そうとしても日銀が買えば意味は無い。90年代の株式市場で成功したことが日本国債で成功するとは思えない。市場規模があまりにも違いすぎて中央銀行にヘッジファンドが戦いを挑んでも、中央銀行には印刷機でいくらでも円を刷ることが出来るから勝てるわけが無い。

一時的に金利上昇があっても数ヶ月で収まるはずだ。むしろ日銀が1%のインフレターゲットを発表したにも拘らず、「日銀は、インフレターゲット1%と言い（政策目標）、65兆円の資産買い受け基金で、マネーを供給しています。2012年1月12日の総マネー供給は、139兆円で、3月10日は145兆円で、まだ増加供給資金は+6兆円留まっています。」と言うように、日銀は有言不実行だ。だから株は下がり円が上げている。

当方もそのとおりだと思うので、加筆修正することなしだ。こういう時代の相場界に我々は居るのだ。

## [貴金属]

### 今週の金の値動き

	4月限(当限)	前日比	2月限(先限)	前日比
4月9日	¥4,308	-3	¥4,321	-4
4月10日	¥4,319	11	¥4,332	11
4月11日	¥4,317	-2	¥4,324	-8
4月12日	¥4,320	3	¥4,331	7
4月13日	¥4,360	40	¥4,370	39

金相場は、先週号においては『来週から各国中央銀行の対応次第で株価・為替と共に不安定な展開が続くそうだ。基本的には押し目買いだとは考えるが、QE3論が台頭するかどうか注目だ』とコメントした。

今週の相場展開は、4,300円を挟んだもみ合いから11日には4,261円まで下落。しかしそこからは戻し、週末は4,300円台後半での終了となった。

○東京金日足

…削除済み…

直近の高値4,560円(3/28)→4,261円(4/11)までの下げ幅は299円。先週の安値をわずかにまた更新したわけだが、週末に掛けては戻した。

チャートではもみ合い下放れであり、重要なネックラインを次々とブレイクして下げた相場だったわけだが、週末には陽線に戻した。だがNY金下落で、夜間取引ではすでに値を消しているわけで、どうもまだ完全に直り相場という状況ではなさそうだ。

日銀の金融政策は据え置き、FRBのQE3には期待感もあるものの、まだ明確な方向性は打ち出されていない。まだしばらくは、方向感のつかめない動きが続くか。

一代の動きは以下のとおり。

#### 東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年4月	¥3,970	4月26日	¥4,751	9月7日	¥3,807	12月30日	¥4,360
2012年6月	¥3,909	6月28日	¥4,754	9月7日	¥3,810	12月30日	¥4,363
2012年8月	¥4,506	8月29日	¥4,754	9月7日	¥3,808	12月30日	¥4,366
2012年10月	¥4,229	10月27日	¥4,652	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,367
2012年12月	¥4,037	12月26日	¥4,654	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,367
2012年2月	¥4,654	2月27日	¥4,654	2月27日	¥4,261	4月11日	¥4,370

○NY金日足(4/12現在)

…削除済み…

週末4/13のNY市場は、前日比20.4ドル安の急落で1660.2ドル。中国の景気減速や欧州債務懸念が相場を圧迫した格好だ。

ただし1612.3ドル(4/4)→1680ドル台まで…中略…

なお貴金属調査会社 GFMS は現地時間 11 日、今後の金価格見通しについて、『今年の価格予想レンジは 1530～1920 ドルで、平均価格は 1731 ドル』、『今年後半から 2013 年前半にかけては、根強い欧州債務危機に対する懸念や米国の追加金融緩和見通しを背景に 2000 ドルを超える可能性がある』、『ただし、2000 ル超えは短期間に終わる公算』との見方を示した。

これを信じるならば、1,530 ドルまで下げてくれれば買いたいね！

CFTC 発表の 4/10 現在のファンドのポジションは、…中略…

4/13 現在の ETF 残高は、…中略…

結論として当方の相場観は、現状ではまだ戻りの勢いは弱そう。金融緩和がないならば、突っ込みは買っても 4,400 円台は戻りの限界で、売りであろうと見る。

今週のプラチナの値動き

	4 月限(当限)	前日比	2 月限(先限)	前日比
4 月 9 日	¥4,258	-34	¥4,281	-40
4 月 10 日	¥4,257	-1	¥4,289	8
4 月 11 日	¥4,150	-107	¥4,172	-117
4 月 12 日	¥4,149	-1	¥4,181	9
4 月 13 日	¥4,153	4	¥4,191	10

プラチナ相場は、先週号においては『金とのサヤには大きな変化はないだろう。だがその金がどちらに向かうか不透明であるため、プラチナ相場の先行きも不透明。今後の金融政策の行方次第であろうと見る』とコメントした。

今週の相場展開は、期待された日銀の追加金融緩和策は出ず、11 日には急落。一気に下げた相場は株価の低迷からあまり戻れず、週末には 4,138 円まで記録。

○東京プラチナ日足

…削除済み…

金は 3/7 の安値 4,331 円を割り込む下げを、すでに先週出していたわけだが、遅ればせながらプラチナも 3/7 の安値 4,191 円を 11 日に割り込んだ。

結局株安から来た下げは、下げ遅れていると受け取られたわけである。

金融緩和というカンフル剤が無いと戻れない株価を見る限り、…中略…

ネックラインをブレイクすれば戻るのが今の相場とはいえ、その戻りも甘い事を考えれば、相場はまだ下向きなのであろう。ちょっとよろしくはない状況だ。こうなるとやはり、4,000 円を割る下げも視野に入れないといけないのだろう。

一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナー代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年4月	¥4,826	4月26日	¥4,921	5月6日	¥3,363	12月30日	¥4,153
2012年6月	¥4,445	6月28日	¥4,770	8月23日	¥3,370	12月30日	¥4,162
2012年8月	¥4,581	8月29日	¥4,726	9月7日	¥3,380	12月30日	¥4,162
2012年10月	¥3,918	10月27日	¥4,570	3月14日	¥3,375	12月30日	¥4,170
2012年12月	¥3,605	12月26日	¥4,582	3月14日	¥3,376	12月30日	¥4,179
2012年2月	¥4,535	2月27日	¥4,589	3月14日	<b>¥4,138</b>	<b>4月13日</b>	¥4,191

○白金－金価格差日足

…削除済み…

週末現在のサヤは、4,191円（プラチナ）－4,370円（金）＝－179円。

これも11日の急落でチャートパターンが大きく変化してしまった。株価が反転しない限り、戻り売りでプラチナの割安が進みそうなチャートである。

結論として当方の相場観は、中国の景気減速、欧州債務問題の再燃などから下げている株式市場を考えると、プラチナ相場の頭は金以上に重いと判断せざるを得ない。戻り売りであろう。

[穀物]

今週のコーンの値動き

	5月限(当限)	前日比	3月限(先限)	前日比
4月9日	¥26,410	-390	¥23,830	110
4月10日	¥26,250	-150	¥23,500	-330
4月11日	¥26,000	-250	¥23,350	-150
4月12日	¥25,700	-300	¥23,450	100
4月13日	¥25,780	80	¥23,340	-110

まずはコーンから…

先週号においては『大勢では戻り売り相場であると見ているものの、現状の価格帯では買いも売りもしづらい。高くなれば売りたいが、安値を叩くと天候プレミアム分だけ持ち上げられる可能性もあるので』とコメントした。

今週の相場展開は、11日には再び大きく突っ込み **23,020 円の安値まで記録**。ただし 23,000 円台は割り込まず、概ね 23,000 円台でのみみ合い推移であった。

○ 東京コーン日足

…削除済み…

**25,180 円 (3/19) →23,020 円 (4/11)** まで 2,000 円以上の下落を演じた相場だが、天候相場期初期ということで、まだそれ以上の下げにはなっていない。

**だがファンダメンタルズを考えれば、今年天井は 25,000 円で確認していると見た方が無難なのではあるまいか。**

**となればいずれ、相場はまた昨年 11 月の安値 21,000 円台まで下げてゆくと考えるのが自然だろう。よほどの天候異変があれば別だろうが…。**

ともかく今年の作付面積は、75 年ぶりの高水準と見られているわけだ。米国は…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012 年 5 月	¥27,970	4 月 18 日	¥29,360	4 月 21 日	¥22,000	11 月 28 日	¥25,780
2012 年 7 月	¥28,180	6 月 16 日	¥28,560	8 月 30 日	¥22,110	12 月 15 日	¥26,210
2012 年 9 月	¥27,440	8 月 16 日	¥28,550	9 月 13 日	¥21,930	11 月 28 日	¥25,410
2012 年 11 月	¥24,400	10 月 17 日	¥25,060	3 月 19 日	¥21,110	1 月 1 日	¥23,140
2013 年 1 月	¥21,790	12 月 16 日	¥24,890	3 月 19 日	¥21,650	12 月 16 日	¥22,980
2013 年 3 月	¥23,290	2 月 16 日	¥25,180	3 月 19 日	<b>¥23,020</b>	<b>4 月 11 日</b>	¥23,340

○シカゴコーン日足 (4/12 現在)

…削除済み…

週末 4/13 のシカゴ市場は、前日比 8.25 セント安の 629.25 セント。国内換算では 330 円安である。

チャートでは 675.75 セント (3/19) →603 セント (3/29) まで…中略…

なお CFTC 発表の 4/10 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、よほどの天候異変がない限り、相場は 3 月天井を打っていると考えた方が良さそう。戻り売り方針の継続で、昨年秋の安値を狙いたい。

#### 今週の大豆の値動き

	4 月限(当限)	前日比	2 月限(先限)	前日比
4 月 9 日	¥43,040	-1950	¥46,290	-100
4 月 10 日	¥41,050	-1990	¥45,900	-390
4 月 11 日	¥42,620	1570	¥45,090	-810
4 月 12 日	¥43,000	380	¥45,120	30
4 月 13 日	¥43,310	310	¥45,330	210

続いて一般大豆です…

先週号においては『押し目買い継続の相場展開が続くだろう。最終的には天候相場期に青田ほめになるような理想的な天候とならない限り、相場トレンドに変化はないだろうと見る』とコメントした。

今週の相場展開は、週明けには 46,680 円まで上昇して一代高値を再び更新。しかしその後には軟化した相場は 11 日に急落し、一気に 44,000 円までの下落となって、週末に掛けては戻して終了である。

○ 東京大豆日足

…削除済み…

コーンと違って強材料が多い大豆だが、今週は大きく乱高下。一代高値更新の 46,680 円→44,000 円まで一気に 2,680 円下げ、そこから 1,500 円戻す荒い動きを演じたわけである。

天候相場はまだ先であり、…中略…

何せファンドの買いは史上最高であるわけだが、ファンドだろうが何だろうが、自分で消費するなら別だが、買ったものは売らねばならぬ。売っているものは買い戻さねばならぬ…というのが先物市場の鉄則である。大量の買い玉を売る時にはどうなるか？ 誰でもわかる理屈である。

そういう観点からチャートを見ると、コーンが 3/19 に天井打ちならば、大豆は 20 日遅れの 4/9 で天井でも不思議ではない。

ファンダメンタルズは強いから突っ込みは買われるだろうが、さすがに 4/11 の下げでひびが入った相場ではあるまいか。よって強気一辺倒は終了で、戻りは売りも考える相場に変化したと見る。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年4月	¥50,170	4月18日	¥51,180	4月21日	¥31,200	12月16日	¥43,310
2012年6月	¥49,820	6月16日	¥49,910	9月5日	¥33,600	12月16日	¥43,020
2012年8月	¥47,450	8月16日	¥50,110	9月5日	¥35,610	12月15日	¥43,080
2012年10月	¥44,250	10月17日	<b>¥45,340</b>	<b>4月9日</b>	¥36,410	12月15日	¥44,350
2012年12月	¥37,500	12月16日	<b>¥45,750</b>	<b>4月9日</b>	¥36,830	12月16日	¥44,630
2013年2月	¥41,900	2月16日	<b>¥46,680</b>	<b>4月9日</b>	¥41,050	2月16日	¥45,330

○シカゴ大豆日足（4/12 現在）

…削除済み…

週末4/13のシカゴ市場は、前日比4.25セント安の1436.75セント。4/10には1452セントまで上昇していたわけで、この日も高値は1447.75セントの高値を記録したが、さすがに簡単には高値更新をしなくなってきた。

もしも14ドルを割り込むようなら、一斉にファンドが逃げ出すという事も有り得るだろう。

CFTC発表の4/10現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、4/9で天井を打っている可能性も視野に入れ、この辺で打診売りをしてみたい。幾らファンダメンタルズが強くても、天井を打つ時は打つのが相場ゆえに…。

[コメ]

今週のコメの値動き

	4月限(当限)	前日比	9月限(先限)	前日比
4月9日	¥14,800	-250	¥14,740	320
4月10日	¥15,250	450	¥14,760	20
4月11日	¥15,080	-170	¥14,770	10
4月12日	¥15,510	430	¥14,870	100
4月13日	¥15,740	230	¥14,940	70

○東京コメ日足

…削除済み…

○○の期近3本の売り玉が空売りなのか？現物があるのか？で、期近3本の動向が決まりそうだ。

大阪市場は10月限も大幅順ザヤであるが、当方はいずれ9月限買いの10月限狙いである。今週末に4月限は納会であり、来週には10月限が発会する。

東京コメ一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年4月	¥14,330	10月21日	¥15,740	4月13日	¥13,380	1月11日	¥15,740
2012年5月	¥14,700	11月21日	¥15,600	4月13日	¥13,440	1月11日	¥15,500
2012年6月	¥14,170	12月21日	¥15,430	4月13日	¥13,480	1月11日	¥15,430
2012年7月	¥14,240	1月23日	¥15,350	4月13日	¥13,820	1月26日	¥15,350
2012年8月	¥14,200	2月21日	¥15,110	4月13日	¥14,090	4月2日	¥15,110
2012年9月	¥14,200	3月21日	¥14,950	4月13日	¥13,990	4月2日	¥14,940

今週も全限一代高値の更新で、先週末の乱高下から連日の波乱であり、相場は結構動いている。300円動けば証拠金は倍なのだから、参加者が増えてくれるのを望むのみ。

[ゴム]

今週のゴムの値動き

	4月限(当限)	前日比	9月限(先限)	前日比
4月9日	309.7	-0.3	324.9	-1.1
4月10日	307.4	-2.3	322.2	-2.7
4月11日	299.2	-8.2	310.2	-12.0
4月12日	299.8	0.6	313.4	3.2
4月13日	295.1	-4.7	309.4	-4.0

先週号においては『頭が重くなってきているが、このまま下げトレンドに向かうかどうかは不透明。小幅逆張りを続けながら、相場の方向感を探る時期だろう』とコメントした。

今週の相場展開は、11日に商品市場の全面安となった事を受けてゴムも急落。一気に310円台まで下げ、週末まで先物3本は一代安値の更新である。

○東京ゴム日足

…削除済み…

3/7に記録した320.4円を割り込み、一気に一代安値を更新した相場である。先週の金に続き、プラチナと同様にそうなったのが今週のゴムである。

先週号にて「チャートでは340円台での天井打ちで、徐々に頭が重くなっている印象もあるが、本格的に崩れて300円割れに向かうのかどうかまでの自信は無し」としたわけだが、300円は割れずとも、310円割れまでは出たわけだ。

株価の下落や、中国の景気減速を材料視されたのだから、これもまた致し方無しであろう。

タイの市場介入は、積極的に行われている気配はない。今後、増産期に突入してどうなるかであろう。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年4月	292.5	10月26日	330.6	2月27日	248.6	11月11日	295.1
2012年5月	266.0	11月25日	335.0	2月27日	256.9	1月5日	298.0
2012年6月	279.6	12月22日	339.5	2月27日	258.7	1月5日	301.4
2012年7月	324.0	1月26日	342.0	2月27日	304.5	4月13日	304.8
2012年8月	340.7	2月24日	344.4	2月27日	307.0	4月13日	307.6
2012年9月	341.2	3月27日	341.9	3月27日	308.5	4月13日	309.4

当先のサヤは、4月限295.1円～9月限309.4円と14.3円の順ザヤ。順ザヤ幅は若干詰まった。季節要因から言えば、そろそろもっとサヤは詰まって良いと思うのだが、さて？

週末現在の輸入採算価格は、…中略…

国内営業倉庫在庫は、3/20現在で165トン減の14,092トン。3旬ぶりの減少である。

上海ゴム在庫は、…中略…

上海ゴム価格は、東京市場同様に 4/11 に急落し、その後は横ばい。

結論として当方の相場観は、320 円を一気に割り込んだため、今度はそれがレンジの上限になりそう。下値は 300 円割れまでは覚悟しておく必要があるそう。

## 〔石油製品〕

### 今週の原油の値動き

	4月限(当限)	前日比	9月限(先限)	前日比
4月9日	¥61,850	-650	¥59,750	-880
4月10日	¥61,520	-330	¥59,430	-320
4月11日	¥60,730	-790	¥58,310	-1120
4月12日	¥60,700	-30	¥58,520	210
4月13日	¥60,900	200	¥58,710	190

まずは原油から…

先週号においては『押し目買いの相場展開に変化はないだろうが、若干頭も重くなってきた。突っ込みは買いでも、大きく戻したところは利食いの逆張り作戦がベターか』とコメントした。

今週の相場展開は、NY原油は100ドル台前半でのみみ合い。緩やかな下落基調となっている。

東京原油は、円高傾向もあって続落し、11日に急落で、12日には57,720円の安値まで記録。3/15の高値からは6,000円近い下落となっている。

○ NY原油日足 (4/12 現在)

…削除済み…

週末4/13のNY市場は、前日比0.81ドル安の102.83ドル。国内換算では190円安である。

相場は110ドル台から101ドル台まで徐々に値を消し、チャートではちょうど一目均衡表の雲の下に出た後に何とか下げ止まっている場面。

ゴールドマン・サックスがぶち上げた「ブレントで夏場には140ドル目標」と言うのが生きているのかどうか判らぬが、今はドル高/ユーロ安傾向&欧州債務懸念&中国経済成長の鈍化などから、頭の重い展開となっている。東京はそれに輪をかけて円高だから、更に値を消す状況となっているわけだ。

更にはイラン情勢も現状では硬直化して、新たな材料が出てきていないため、何となく買われづらい雰囲気にもなっているようだ。

なおそのロンドンブレントは…中略…

4/10現在のファンドのポジションは、…中略…

○東京原油日足

…削除済み…

先週号では「よほどの事態が発生しない限り、58,740円(3/2)の安値は割れないだろう」としたが、あっさり割れたわけで、それだけ相場は弱かったわけだ。

しかしそこからは反発しており、チャートでは一目均衡表の雲で支えられている格好だ。

ただしすでに63,550円(3/15)→57,720円(4/12)まで5,830円も下げているわけで、今週は日銀も円安誘導は行わなかった事を考えても、2月からの上げ相場は3/15でひとまず終了していたという事であろう。

よって新たな買い材料が出るまでは、戻りは売られると考えていたほうが良いだろう。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年4月	¥50,630	11月1日	¥65,020	3月15日	¥48,130	12月19日	¥60,900
2012年5月	¥51,720	12月1日	¥64,380	3月15日	¥47,910	12月19日	¥60,040
2012年6月	¥51,590	1月4日	¥64,020	3月15日	¥51,100	1月4日	¥59,640
2012年7月	¥51,290	2月1日	¥63,810	3月15日	¥51,040	2月3日	¥59,300
2012年8月	¥59,290	3月1日	¥63,550	3月15日	¥58,010	4月12日	¥58,000
2012年9月	¥60,800	4月2日	¥61,900	4月4日	¥57,720	4月12日	¥58,710

結論として当方の相場観は、大勢は買いでも、新たな買い材料が出るまでは戻り売りであろう。

今週のガソリンの値動き

	5月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
4月9日	¥73,890	-1580	¥72,260	-910
4月10日	¥73,810	-80	¥71,900	-360
4月11日	¥73,360	-450	¥70,790	-1110
4月12日	¥74,370	1010	¥71,490	700
4月13日	¥74,780	410	¥71,590	100

続いてガソリンです…先週号においては『急騰相場は完全に一服した。だからと言って下げ相場に変化することはあるまいが、次の上げ相場に移るためには何らかの材料が必要だろう』とコメントした。

今週の相場展開は、続落した相場が70,300円(4/12)まで下落。ただしそこからは反騰して、71,000円台半ばまで戻しての終了となった。

○東京ガソリン日足

…削除済み…

今週も先物2本は一代安値の更新で、三尊天井型の相場は77,810円(3/15)→70,300円(4/12)まで7,510円の下げとなった。

先週号でコメントした「いずれはまた8万円台に向けて上がってゆく相場であろうが、相対力指数の推移から考えても、目先は一度天井を打っているのだろう。高値で買い付いた買い方は、一度投げさせられる下げが来てもおかしくはない」とした見方が当たった形だが、GW前にもう一度下に向いてもおかしくはない。ただし、いずれまた8万円を目指すコースに乗ると考えているが。

一代の推移は、以下のとおり。

#### 東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年5月	¥62,380	10月26日	¥80,750	3月15日	¥59,350	11月22日	¥74,780
2012年6月	¥61,020	11月28日	¥80,590	3月15日	¥60,510	12月19日	¥74,600
2012年7月	¥61,750	12月26日	¥79,810	3月15日	¥62,500	12月30日	¥74,210
2012年8月	¥66,800	1月26日	¥78,910	3月15日	¥64,920	2月3日	¥73,500
2012年9月	¥75,030	2月27日	¥77,810	3月15日	¥71,250	4月11日	¥72,690
2012年10月	¥74,980	3月26日	¥75,430	3月28日	¥70,300	4月12日	¥71,590

4/12 現在の業者間転売価格は、…中略…

4/7 現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、高値買い玉の投げから大きく下がった相場だが、需給はタイトである。原油価格が下げ止まれば、一気に切り返す可能性は高いだろう。突っ込み買い狙いである。

#### 今週の灯油の値動き

	5月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
4月9日	¥69,840	-1270	¥71,920	-910
4月10日	¥69,460	-380	¥71,490	-430
4月11日	¥68,450	-1010	¥70,320	-1170
4月12日	¥68,780	330	¥70,720	400
4月13日	¥69,190	410	¥70,920	200

最後に灯油です…先週号においては『押し目買い方針に変化はなし。ただし原油が下がるようなら、応分の下げはあるわけで、建っている限月を考えると一番下げづらいただろうと思っているわけだ』とコメントした。

今週の相場展開は、続落した相場が 69,690 円 (4/12) まで急落。7 万円割れの相場となり、そこからは 1,000 円超戻しての終了となった。

○東京灯油日足

…削除済み…

3/15 の高値 75,730 円→69,690 円 (3/12) までの下げ幅は 6,040 円に及び、ネックラインを割り込んだ急落となった相場である。

チャートでは、ちょうど一目均衡表の雲で支えられているが、ネックラインを割り込んだ悪さと、それとでどっちが強いかだろう。

今の灯油は売りで取る相場ではない…という考えには変化ないものの、ここで戻りきれなければGW前に更なる投げが出る可能性もあり、ちょっと手出ししづらい格好である。

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年5月	¥61,740	10月26日	¥74,050	3月15日	¥59,010	12月19日	¥69,190
2012年6月	¥62,400	11月28日	¥74,200	3月15日	¥58,700	12月19日	¥69,010
2012年7月	¥61,750	12月26日	¥74,500	3月15日	¥50,660	12月30日	¥69,150
2012年8月	¥63,840	1月26日	¥75,130	3月15日	¥61,870	2月3日	¥69,520
2012年9月	¥73,400	2月27日	¥75,730	3月15日	<b>¥58,440</b>	<b>4月12日</b>	¥70,040
2012年10月	¥74,590	3月26日	¥75,370	3月28日	<b>¥69,690</b>	<b>4月12日</b>	¥70,920

4/12 現在の業者間転売価格は、…中略…

4/7 現在の灯油在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、ジェット燃料の在庫は異例の低水準である。それが灯油相場の支えになると思われるため、原油売り・灯油買いのスプレッドも一考の価値があるだろう。

## [為替・株式]

### ○ ドル/円相場日足

…削除済み…

商品相場のチャートは 3/15 天井、4/11 急落となっているものが多いわけだが、これはまさに為替の天底と一緒にある。

為替は 3/15 が 84.17 円で円安のピークであり、4/11 は 80.56 円まで円高進行となったわけであるゆえ。

こうも為替の影響が大きいのでは、商品相場をしているのか、FX 取引をしているのか判らんね。

### ○ ユーロ/円相場日足

…削除済み…

ドル/円とはちょっとずれているが、111.42 円 (3/21) が円安ピークで、再び円高となっているのは同じである。

### ○ ユーロ/ドル相場日足

…削除済み…

こちらはもみ合いの展開が続いている。ドル安に向かえば米国市場での商品相場は上がるのだろうが、これを見る限りではまだトレンドは出そうもない。

### ○ 日経 225 日足

…削除済み…

1 万円オーバーから 9,300 円台まで下げた株価であるが、商品市場のこのところの下げはこの株安の影響が大きかったということ。

このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。

内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものではありません。

(当たり前ですが念のため)

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス [info@higenaka.com](mailto:info@higenaka.com)